令和4年度包括連携協定に基づく協働事業実績一覧表

No.	相手方 企業・団体名	事業・取組名	事業・取組の概要	実施年月日	連携による効果 (定量的・定性的)	部署名
1	三井住友海上	メンタルヘルスケア対 策支援	令和2年12月に施行した「立川市職場におけるハラスメントの防止に関する基本方針」及び「同要綱」に基づき、防止対策や制度の理解を深めるために、令和2年度に引き続き係長職向けに研修を実施した。午前・午後の2回	令和4年8月3日	係長職以上のハラスメントの理解が深まり、職場でのハラスメント防止につながった。また、ハラスメントと業務上必要な指示・指導についての判断についても理解が深まった。 受講者 係長職106名	人事課
2	三井住友海上	脳卒中セミナーの講師 派遣	高齢者向けに脳卒中の予防や症状、治療法等についてのセミナーを開催し、脳卒中への理解を深めた。	令和4年11月15日	高齢者の居場所や生きがいづくりを目的にした保健講座として開催したが、講義だけでなく、血管年齢測定や野菜の摂取量診断なども行い、参加者に楽しんでもらうことができた。参加者20名	福祉総務課
3	東京海上日動	①介護保険事業者向け 研修の講師派遣 ② 0 次予防の取組につ いての協働作業	①年1回介護保険事業者向け研修の講師を派遣。 ② 0 次予防について連携・協働できることについて協議した。	①年度末 ②随時	①令和3年度の介護報酬改定において介護事業者のBCP策定が義務付けられたことを受け、計画策定の考え方、作成例などの研修会を開催して事業者への支援を行った。参加者70名	高齢福祉課
4	中央大学	総合政策概論	総合政策学部1年生必修授業である総合政策概論 の授業において、市職員が基礎自治体や公務員の 魅力について講義した。	①令和4年6月8日 ②令和4年6月15日	基礎自治体で働く意義や魅力を学生に伝えることができた。学生の就職希望先の1つとして、公務員を考える機会につながった。 履修登録者:338名	人事課 企画政策課
5	中央大学	イベントの開催 (学生による若者視点 の活用)	「第21回くらしフェスタ立川」において、講演会のオンライン配信等を企画していただいた。また、消費者被害防止に関する啓発を出展いただいた。	令和5年2月18,19日 (10~16時) 及び、各月第2水曜の実行 委員会への出席	イベントに、中央大学の学生が参加することで賑やかさが出た。また、実行委員会への出席や告知用ポスターの作成など、準備段階から積極的に関わってもらうことで、消費者問題に関心を持ってもらうことができた。 くらしフェスタ立川 参加者2,475名。	生活安全課

No.	相手方 企業・団体名	事業・取組名	事業・取組の概要	実施年月日	連携による効果 (定量的・定性的)	部署名
6	中央大学		中央大学SDGsアクションプランアワード2022の 審査協力。	令和4年12月17日	SDGs の達成に向けた学生の取り組みについて、 自治体の立場にたった助言を行い、学生の行動計 画の実効性を高めることで、SDGsの推進につ ながった。 審査対象グループ数:9グループ	企画政策課
7	明治安田生命	イベント(ニュース ポーツ体験会)での健 康測定の実施	運動をしている人もしていない人も参加できる ニュースポーツを体験する機会を提供するイベン トの中で、健康測定ブースを出展していただい た。	令和4年12月11日	ニュースポーツ体験会の試合形式前や合間に参加者やスポーツ推進委員など大勢の人が測定に訪れていた。コロナ禍で市民の運動不足が指摘される中、気軽にできるニュースポーツと健康チェックの組み合わせは運動と健康を意識するきっかけとなった。 体験会参加者 47名	スポーツ振興課
8	明治安田生命	セミナーの講師派遣	職員向け課内研修	令和4年10月4日	市民対応等によりストレスを抱えやすい職場なので、専門の講師による講話やストレッチの実践などストレスとの向き合い方を習得することができた。 参加者数:20人	収納課
9	IKEA立川	遊ぼう!	第1部 知育玩具を使って、子どもと遊びます (IKEA立川) 第2部 子どもとの接し方、家事育児の啓発活動 (パパママ子育て応援部 H i タッチ!!)	令和 4 年11月26日 (10:00~11:30)	IKEA立川と女性総合センター登録団体のパパママ 子育て応援部 H i タッチ!!の2部構成の企画。 親子で参加のため、大変賑やかな講座となりました。父親の育児についての啓発活動を行うことができ、参加者に対して理解が深まった。 参加者:13名 満足度:100%	男女平等参画課

No.	相手方 企業・団体名	事業・取組名	事業・取組の概要	実施年月日	連携による効果 (定量的・定性的)	部署名
10	IKEA立川	子ども委員会への講師派遣	子ども委員会でIKEAの取組について紹介。	令和4年9月11日	事業者の環境を配慮した取り組み及び健康的でサステナブルな暮らしを目指すSDGsの取り組みなどについて学ぶ機会となった。子ども委員による市政への意見表明の場である第58回立川市青少年健全育成研究大会出席者に子ども委員会での取組みと提案内容について、意見提案を行う成果となった。 聴講児童数:6名(環境整備班) 立川市青少年健全育成研究大会出席者数:92名	子ども育成課
11	メガロス	着衣泳の指導	着衣泳の学習にスタッフを派遣していただき、より専門的な知識や指導をしていただいた。 対象校:第一小学校	令和4年7月21日	教員による指導に加え、より専門的な指導により、児童の着衣泳の技能の向上が見られた。 参加者95名	指導課
12	メガロス	着衣泳の指導	着衣泳の学習にスタッフを派遣していただき、より専門的な知識や指導をしていただいた。 対象校:第二小学校	令和4年7月15日	教員による指導に加え、より専門的な指導により、児童の着衣泳の技能の向上が見られた。 参加者66名	指導課
13	メガロス	着衣泳の指導	着衣泳の学習にスタッフを派遣していただき、よ り専門的な知識や指導をしていただいた。 対象校:第五小学校	令和4年7月27日	教員による指導に加え、より専門的な指導により、児童の着衣泳の技能の向上が見られた。 参加者97名	指導課
14	メガロス	着衣泳の指導	着衣泳の学習にスタッフを派遣していただき、よ り専門的な知識や指導をしていただいた。 対象校:第七小学校	令和4年7月22日	教員による指導に加え、より専門的な指導により、児童の着衣泳の技能の向上が見られた。 参加者48名	指導課

No.	相手方 企業・団体名	事業・取組名	事業・取組の概要	実施年月日	連携による効果(定量的・定性的)	部署名
15	メガロス	着衣泳の指導	着衣泳の学習にスタッフを派遣していただき、より専門的な知識や指導をしていただいた。 対象校:第十小学校	令和4年7月20日	教員による指導に加え、より専門的な指導により、児童の着衣泳の技能の向上が見られた。 参加者49名	指導課
16	メガロス	着衣泳の指導	着衣泳の学習にスタッフを派遣していただき、より専門的な知識や指導をしていただいた。 対象校:南砂小学校	令和4年7月19日	教員による指導に加え、より専門的な指導により、児童の着衣泳の技能の向上が見られた。 参加者63名	指導課
17	メガロス	着衣泳の指導	着衣泳の学習にスタッフを派遣していただき、より専門的な知識や指導をしていただいた。 対象校:幸小学校	令和4年7月7日	教員による指導に加え、より専門的な指導により、児童の着衣泳の技能の向上が見られた。 参加者115名	指導課
18	メガロス	園児、もしくは保育士 への指導	・5歳児16名に対する基礎的な運動指導(マット、鉄棒)。 ・保育士が園児に指導するときのポイント。 対象保育園:羽衣保育園	令和4年11月29日	・園児の運動に対する意欲や興味につながったり、それまでできなかった逆上がり等ができるようになった児が増えた。 保育士も指導のポイントを知り、学びになった。 園児16名	保育課

No	相手方 企業・団体名	事業・取組名	事業・取組の概要	実施年月日	連携による効果 (定量的・定性的)	部署名
1111	メガロス	園児、もしくは保育士 への指導	園庭にて5歳児の体育活動を行う。 (職員3名、園児16名) ・腹這い、四つ這い等の粗大運動 ・ミニボールの的当て ・サーキット(鉄棒、一本橋、段差を利用した手押し車など) 対象保育園:高松保育園	令和5年2月9日	普段から保育の中で走ったり、長距離を歩いたりすることはしてきたが、体の部位を意識的に動かす取り組みを重ねていかないと能力的には伸びにくいことを教えてもらい、大人が設定した体育活動の大切さを改めて感じた。また、活動内容なども子どもたちが楽しみながら行えるように工夫されていて『またやりたい』という意欲を持つ姿が見られた。クラス活動で行った時にも室内でも十分に動くことができ、異年齢でも楽しむことができた。	保育課
20	メガロス		年長児、職員向けに体操指導を受けた 対象保育園:中砂保育園	令和4年12月16日	乳児からの発達に沿った運動の指導を園内にある 運動遊具を使って指導していただいた。子どもた ちにとって良い経験となり、保育士にとっても改 めて運動発達に即した動きを学び、また遊具の使 い方などでも新たな視点で学ぶことができた。 園児18名 職員6名参加	保育課
2	メガロス	園児、もしくは保育士 への指導	5歳児対象に、体の様々な個所を使った動きを、 子どもたちが楽しめるように、教えていただい た。職員にも鉄棒や縄跳びの指導のポイントを教 えていただく。 対象保育園:西立川保育園	令和4年10月13日	ちょうど運動会前だったので、子どもたちも体を動かすモチベーションにつながった。 また、その後も鉄棒や縄跳びへの挑戦にもつながるなど、いい体験となった。 園児14名	保育課

No.	相手方 企業・団体名	事業・取組名	事業・取組の概要	実施年月日	連携による効果(定量的・定性的)	部署名
22	メガロス	園児、もしくは保育士 への指導	5歳児に対する鉄棒指導のための基礎体力づくりや、サーキットや鉄棒での保育者がつく場所、体を支える箇所などを指導していただいた。 対象保育園:柏保育園	令和5年1月26日	サーキットを設置する時の効果的な環境づくりや、はいはいでの動きの重要性などを確認でき、その後の保育や園児へのかかわりにフィードバックできている。 園児18名、職員4名	保育課
23	メガロス		年長児対象に、運動の基礎を教えていただいた。 対象保育園:上砂保育園	令和4年11月15日	子どもだけでなく、保育士も運動遊びの指導方法を 知ることができ、今後の保育活動に活かすことが 出来た。 園児24名	保育課
24	ІКЕА立川		市内小中学校の教育リーダーを育成するための講 座に講師を派遣していただいた。	令和4年10月7日	リーダーシップについて講義していただき、学校教育とはまた違った視点からのアプローチにより、受講者の興味、関心は高く、有意義な講座となった。 参加者12名	指導課
25	明治安田生命	大人の塗り絵コンテストへの協力	高齢者デイサービスや高齢者施設入所者に、明治 安田生命が主催する「大人の塗り絵コンテスト」 に参加してもらえるように働きかけを行った。	令和 4 年5月	高齢者の健康増進につながった。 協力施設6ヵ所。	高齢福祉課

No.	相手方 企業・団体名	事業・取組名	事業・取組の概要	実施年月日	連携による効果(定量的・定性的)	部署名
26	明治安田生命	認知症等の予防セミナー	明治安田生命職員に対して、認知症等の予防セミナーを開催した。	令和5年1月26日	包括連携協定先の明治安田生命職員に対して、認知症等の知識を共有することで、連携事業の充実が図れた。 参加者30名	高齢福祉課
27	郵便局	援のあり方検討委員会	新たな取組を考える際に、金融機関の立場から参画してもらい、アドバイスをもらったり、その取組の実現化に向けて協議検討を行った。	令和5年2月22日 令和5年3月29日	事業を通じて、高齢者の見守り活動の新たな連携 体制を構築することができた。	高齢福祉課
28	国立音楽大学		記念式典での国歌及びお祝いの歌の独唱 ※実行委員会で実施内容を検討し、決定後に音大 側に推薦を依頼。	令和5年1月9日	経験と実績のある素晴らしい歌声で、会場の新成人を魅了した。 式典プログラムに出演者プロフィールを掲載し、 大学の広報に寄与した。 参加者約500人×2回(二部制)	子ども育成課
29	国立音楽大学	中学生の主張大会	①個人審査会:発表者15名、優秀賞受賞者20 名を選考 ②中学生の主張大会:大会当日の審査	①令和4年10月6日 ②令和4年11月3日	外部審査員として、審査の公平性を重視した観点 で審査を行っていただいた。 参加者414人	子ども育成課

No.	相手方 企業・団体名	事業・取組名	事業・取組の概要	実施年月日	連携による効果 (定量的・定性的)	部署名
30	国立音楽大学		60歳以上の高齢者及びその家族等を対象に、室内 楽や歌に親しんでもらった。	令和4年9月17日	音大生による生演奏のコンサートに身近に触れる ことができ、大変好評だった。 参加者61人	福祉総務課
31	国立音楽大学		身近な音楽を通して、こころの健康について探 る。みんなで楽しく音楽を感じる体験も行った。	令和5年3月11日	講座の満足度は100%と高かった。コロナによる 状況も変化してきている中で、音楽を通してコ ミュニケーションを図ることの実際や楽しさを体 感し、人とのつながりを感じられる機会になった と考える。 参加者30人	健康推進課
32	国立音楽大学	吹奏楽部楽器別研修会	吹奏楽部の部員への楽器の演奏指導。	通年	パートごとに担当者が担当児童に奏法等を教える ことで、技術の向上の機会につながった。 参加者 吹奏楽部児童 約40人	若葉台小学校
33	国立音楽大学	合唱コンクール パート別練習	大学生・研究生による合唱パート別指導	令和4年10月4日~17日	パートごとに担当者が担当生徒に奏法等を教える ことで、技術の向上の機会につながった。	立川第五中学校
34	国立音楽大学	学習支援員	通年で、応募学生(随時面接の上、採用)による学習 指導補助。	通年	担当者が担当生徒に奏法等を教えることで、技術の向上の機会につながった。	立川第五中学校

No.	相手方 企業・団体名	事業・取組名	事業・取組の概要	実施年月日	連携による効果(定量的・定性的)	部署名
35	国立音楽大学	立川市立中学校音楽鑑賞教室	日頃の音楽活動の中で学んでいる生のオーケストラ演奏等を鑑賞させることで、より一層進んで聴こうとする意欲を高め、積極的な鑑賞の態度や能力を育てる。 市内全中学校2年生を対象として、Aオケ(音大3・4年生)による演奏の鑑賞を実施。	令和4年5月10日	国立音楽大学に学生等による生のオーケストラ演奏を鑑賞させることで、より一層進んで聴こうとする意欲が高まり、積極的な鑑賞の態度や能力を育てることができた。 全中学校2年生 1,300人程度	指導課
36	国立音楽大学	地域活性化講座 「音の探検隊!色や形 の探検隊!〜おもしろ いことば、色や形をみ つけよう!」	身近なものや絵から楽しんで音楽を創る。	令和4年7月16日		生涯学習推進センター (砂川学習館)
37	国立音楽大学		言葉遊びや春にちなんだお話と音楽、歌など盛り だくさんな内容をみんなで楽しむ。	令和5年2月4日		生涯学習推進センター (砂川学習館)
38	国立音楽大学	クラシック音楽入門講	毎回異なる作曲家の一曲を題材とした解説講座を行い、クラシック音楽に親しむ市民を増やす。一部の回では、学生等による生演奏もお願いする。 【平成22年度~】		クラシック音楽の学びを深める機会の創出につながった。 参加者 延べ71人	生涯学習推進センター(市民交流大学係)
39	国立音楽大学		コンサート楽曲の簡単な解説とともに国立音大学 生のコンサートを鑑賞。 【平成22年度~】	令和4年12月24日	クラシック音楽の学びを深める機会の創出につながった。 参加者60人	生涯学習推進センター(市民交流大学係)

No.	相手方 企業・団体名	事業・取組名	事業・取組の概要	実施年月日	連携による効果 (定量的・定性的)	部署名
40	国立音楽大学		国立音大学生を講師にしたジャズの歴史や曲目解 説と演奏。	令和5年2月18日	学生らしい若々しい演奏が参加者に好評だった 参加者50人	錦図書館
41	国立音楽大学	Kamisuna Library Concert	ヴァイオリンとピアノによる、解説付きのコン サート。	令和4年10月9日	参加者が小学生~高齢者と幅広く、会場のコンデシション(ピアノ)などもベストではない中、演奏者の方の構成・選曲・演奏によって、参加した市民の皆さんから大変よかったとの声をいただいた。 参加者43人	上砂図書館
42	国立音楽大学	期日前投票所立会人	若年層の投票率低迷の改善のため、主権者教育の 一つの手法として、学生への期日前投票所の立会 人の依頼。	令和4年6月13日~18日 【市議】 令和4年6月23日~7月9日 【参院】	市議選5人 参院選8人が期日前投票所の立会人と して従事。	選挙管理委員会事務局
43	国立音楽大学	アイムホールコンサート	立川駅直近の施設で、地域住民等に生の演奏を楽しんでいただくとともに、音大の魅力をアピールする機会の一つとする。 また、音大生がコンサートを実施するための支援も行った。	年3月6日、3月14日、3月	近隣の住民の方に学生によるコンサートを提供し 身近に音楽に触れていただくとともに学生にも一 般のお客様へ向けたコンサートプログラムなどを 検討する機会となった。 参加者90人~196人程度	地域文化振興財団・地域文化課
44	国立音楽大学	水曜コンサート	毎月1回、12:20~12:50に実施しているロビーコン サート。5月と6月に学生に出演いただいた。	①令和4年5月18日 フルートとピアノ ②令和4年6月29日 ジャズトリオ	近隣の住民の方に身近に音楽に触れていただくとともに、学生の演奏活動にも理解していただく機会となった。 参加者90人程度	地域文化振興財団

No.	相手方 企業・団体名	事業・取組名	事業・取組の概要	実施年月日	連携による効果(定量的・定性的)	部署名
45	国立音楽大学	小学生吹奏楽クリニッ ク	吹奏楽部やクラブを指導することで吹奏楽の振興 を図った。		学生にとっては子供たちへ 指導する練習の機会を提供。小学生にとっては技術の向上の機会の提供となった。 参加者 小学生150人程度	地域文化振興財団
46	国立音楽大学		連携協力に関する協定を記念して実施。国立音大が企画の解説付きの室内楽コンサート。	令和5年3月26日	教授によるレクチャー付きのコンサートを市民へ 提供することで、芸術への理解や、音大への理解 を深めてもらう機会となった。年々来場者も増加 している。 参加者582人	地域文化振興財団
47	国立音楽大学	立川市民オペラ公演	オペラという総合舞台芸術の創造と音楽を通した 地域の文化振興の為、平成4年度から開催。平成 20年度からは実行委員会を結成し、会長に立川商 工会議所会頭、副会長に国立音楽大学教授を迎 え、ほか企業、市民音楽団体、立川市、財団で構 成されている。年1回3月にオペラ公演を開催。 オーケストラのエキストラ等で音大生も参加いた だいた。	令和4年3月18日~19日	オペラという総合舞台芸術の制作に音大も加わって頂くことで立川市の文化振興に貢献するとともに、学生の舞台芸術の参加及び勉強の機会となった。 参加者1065人(2公演)	地域文化振興財団
48	国立音楽大学	校舎見学&コンサート	毎年12月に、楽器学資料館の見学と演奏会を組み 合わせて開催。	令和4年12月3日	立川市民の文化振興のため開催することによって、近隣市民の文化芸術への理解や国立音楽大学への理解を深めることが出来た。 参加者10人	地域文化振興財団・地域文化課